

#若者 #仲間づくり #多世代交流

#コミュニティ

#Youth Innovation Hub



②若者の多世代交流の場を 民間と共創

品川区子ども育成課

子ども育成課

● 児童センター管理運営係

U-29会議 YoungUp!
～想いをみんなでカタチにしよう!～

みんなの想いや考えを
出合っ、企業へ提案する
アンダー29会議を実施します!
3月から月に1回集まって
みんなの想いをカタチにしよう!
開催場所は毎回違うから
いろんな場所で楽しく活動
できることまちがいないっ♪
おたのしみに!

★対象★
中学生から
20代の品川区で
活動している方
全3回参加できる方優先

★定員★
20名程度
※参加人数を超えた場合
抽選になります

★参加費★
無料

★Information★

第1回 3月21日(土) 午後2時～4時(予定)
しながわ水族館(入館券付き)

第2回 4月18日(土) 午後2時～4時(予定)
株式会社ダーツライブ

第3回 5月23日(土) 午後2時～4時(予定)
エコルとごし

※現地集合(交通費は自己負担です)

★申し込み★
2月12日(木)～2月28日(土)まで受付
電子申請の場合: QRコードのHPから
電話の場合: 03-3471-1070(東大井児童センター)
※日祝除く午前9時～午後6時まで

抽選結果は3月6日(金)までにお知らせします
(電子申請の場合メール、電話申し込みの場合は電話で連絡)

電子申請は
こちら

問い合わせ: 品川区子ども育成課児童センター管理運営係
TEL/03-5742-7823 FAX/03-5742-6351
MAIL/kodomo-shien@city.shinagawa.tokyo.jp

登壇者

子ども未来部子ども育成課長

上野 晶子

こども・若者の意見を聴き、 多様な意見や思いを尊重する。

U-29会議 YoungUp!

～想いをみんなでカタチにしよう～

3月 しながわ水族館

4月 ダーツライブ

5月 エコルとごし

中学生 11名 高校生 4名

19歳以上 9名 合計 24名



Younger SHINAGAWA

～品川をよりよい街に～

現状と課題

- ・24時以降の居場所が少ない。
⇒気軽に利用できる24時間開放の施設が無い
⇒未成年は条例により深夜出歩けない難しさも…
⇒24時間開放だと人件費問題もある
- ・区民限定や区民割ができるような場所が欲しい。
- ・遊園地のようなアミューズメント施設が無い。
- ・品川区はとっても住みやすいのに、人が多すぎると感じる事がなくて好き。住みやすくなるのは嬉しいけど、窮屈になるのは少し嫌。

理想と効果

- ・区内に住んでいる人たちが盛り上がる。
- ・若者が家以外に頼る場所、落ち着ける場所があると安心できる。
- ・交流の場となる。

解決方法

- ・今ある区内施設を拡大・改築し、営業時間を延長してもらう。
- ・今ある区内施設でイベント等を開催してもらう。
- ・フードコートやドリンクバーなどがある場を設け、区民割や区民限定の会員性等にして、区外からの利用を緩和する。

具体案

- ・フードコート、ドリンクバーなどがある複合施設を開設する。(運動ができる場所・ちょっとした遊具・温泉・スパ・サウナを設置したい)
- ・区民割や区民限定の会員制などにして、区外からの利用を緩和する。
- ・土日や夜間の休業中にオフィスを開放してくれる企業を募る。

企業へ…

- ・SONY、SEGA、モスバーガー、サンリオ、文化堂、サーティワンに協賛してほしい。

児童センターをより良くするため

現状と課題

- ・施設が狭いため遊びが混在したり、幼児とぶつかりそうで遊びにくい。(改築後狭くなった)
- ・日曜、祝日を平日と同じ対応で開館してほしい。
- ・同じ遊びばかりになるため、新しいイベントを！
- ・18歳までしか入れないところが多くなる。
- ・売店や自動販売機はない。
- ・中高生だけの館もいいけど、異年齢交流できるのも良さだから、全部を別にしたいわけではない。
- ・施設や備品が老朽化しても中々新しくならない。

理想と効果

- ・ティーンズタイムを増やすことで、中高生が思いっきり遊べる。
- ・21時まで開館していれば中高生向けイベントが実施しやすくなる。
- ・大人まで入れると進路が別になっても同級生と交流できたり、上の世代に相談したり、一緒に遊べる。
- ・売店などがあると1日センターから出ずに過ごせる。

解決方法

- ・ティーンズタイムの時間や回数を増やす。(週3～毎日にしてほしい！21時まで延長！)
- ・地下を作って敷地面積を広げる。
- ・日曜日や祝日を開館するため委託会社に依頼する。
- ・中高生は学校や部活があって来館しづらい月曜等を休館日or委託運営にしよう。
- ・夜は18歳以上も入れるようにする。

具体案

- ・館長や区長に職員のシフトや人数等について相談してみる。
- ・地域の人に手紙を書いてセンター運営を理解してもらう。
- ・発売前のドリンクを置いて、来館者が自由に飲めるようにし、ドリンクの減り具合や意見を企業に伝える。

企業へ…

- ・ドリンクバーや売店を作ってほしい。
- ・中学生以上のみ、小学生以下のみが利用できるセンターをそれぞれ作ってほしい。
- ・既存のセンターに地下を作ってほしい。

広げられ品川の輪

現状と課題

- ・全世代の交流の場が少ない。
- ・大人同士の交流の場がない。
- ・私立学校だと地域の交流や繋がりが少ない。
- ・自転車への法改正についての講座が少ない。
- ・SNSのネットリテラシーを知る機会が少ない。
- ・品川区の卓球人口を増やしたい。
- ・若者への周知や広報の仕方。

理想と効果

- ・品川区を「こんなにちは」が増える環境にしたい。
- ・品川区の活性化。
- ・ママ友やパパ友のつながりが増えて、子育てがしやすくなる。
- ・企業が参入して品川区がよりよくなれば、企業の宣伝にもなる。

解決方法

- ・区のSNSを堅苦しくなく、見やすいようにする。
- ・大人向けの文言と子どもや若い世代が見やすく、興味を持つようなお知らせを2パターン用意する。もしくはアカウントを変える等。
- ・児童センターの全年齢版で誰でも入れるような施設を作る。

具体案

- ・自転車の法改正について学べるイベントを開催する。
- ・年齢に関わらず卓球初心者や未経験者のとっかかりとなるイベントを開催する。
- ・子育て中の親が話し合えるイベントを開催する。

企業へ…

- ・自転車の法改正について、警察や自転車メーカーの人に教えてほしい。(自転車の危険性等…)
- ・子育てについて、企業が親向けのイベントをしてほしい。(アカチャンホンポ)
- ・ネットリテラシーについて、ネット活動をしているタレントやYoutuberに説明してほしい。
- ・卓球メーカーに協力してほしい。

快適なインフラ@しながわ

現状と課題

- ・図書館について…
⇒HPが見づらくて、必要な情報が探しにくい。
⇒入口が暗く、開館しているのかわからない。
⇒雰囲気が悪い。
⇒検索端末がうまく条件に引っかからず使いづらい。
- ・道が狭い、駐車場について
⇒道が狭くて危険。
⇒駐車場に屋根がないところが多いし、太いタイヤの自転車は駐輪できない。
- ・公共トイレが古い、汚い、暗いので使いづらい。

理想と効果

- ・図書館は使いやすくなることで利用者が増える。
- ・HPや端末が改善されると時間の有効活用になる。
- ・トイレが清潔になれば利用しやすくなり、イメージアップにも繋がる。
- ・道路の安全性が保たれることで、事故が減少する。

解決方法

- ・HPを新しくし、利用しやすくする。学習室の利用状況等が分かると良い。
- ・図書館と企業がコラボし、カフェと一緒にするのは？
- ・トイレの清掃回数を増やしたり、改築or新築する。
- ・道路の混雑時に整備員を配置し、安全を確保する。
- ・駐輪場を屋根付きで、主要駅から離れた所に設ける。

具体案

- ・HPを作る会社に委託する。
- ・照明を明るくして、入口に大きく掲示等をする。
- ・トイレの建て替え、清掃、広告設置(収益を清掃費に)
- ・屋根があって、太いタイヤに対応した駐輪場を増やす。

企業へ…

- ・HPを委託し、カフェとコラボしてほしい。
- ・トイレの改築、広告の設置。広告を設置したい企業を募集し、設置費用を清掃代に充てる。
- ・道路や駐輪場に整備員を配置するために、業務委託する。

解決したい課題・あるべき姿

これまでの
U-29会議では

先輩とおしゃべり・進学や就職の相談・友だちづくり
多世代が交流することやコミュニティ形成へのリアルなニーズがあった

児童センターは18歳まで



高校卒業後の
若者の居場所

行政単独のイベント



スピード感



トレンドの反映



あるべき姿
(実現したい未来)

多世代が日常的に無料で楽しく交流でき、
お互いの顔の見える縦・横の繋がりが構築されている状態

現状・背景

令和12年1月「子ども・若者活動拠点」開設予定

提案の自由度



※イメージ図

参加者・若者の視点

- ・ ワクワクする非日常的な空間
- ・ 企業独自のコンテンツを入口としたカジュアルに交流できるイベント



民間企業・大学・NPO等の視点

- ・ 若者のリアルな価値観を抽出
- ・ 自社のファン作り
- ・ 将来の採用、リクルーティング



若者 × 企業 × 品川区

自治体によるサポート体制

サポート項目	状況	詳細
職員とのディスカッション可否 (オンライン・オフライン・両方・NO)	両方可	
現場の視察可否	可	児童センターの視察は可能
提供可能なデータ・資料	可	事案により提供可能
提供可能なフィールド	不可	児童センターは利用対象に限りがあるため 会場としての提供不可
他自治体との課題共通性 (1 - 5)	3	

